

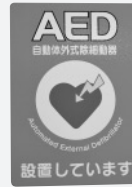
安平支署 高規格救急車を更新



1999年に旧早来支署に配備されて以来約13年間、年に230件程の出動をしてきた救急車の更新車両が、2月9日に配備されました。外観は前車両とほとんど変わりませんが、救急搬送の効率化の工夫が随所に施された新車両は、力強く救急の役割を担っています。救急車の導入費用は約2,800万円で、1,800万円程を石油貯蔵施設立地対策等交付金として国からの補助を受けています。

日頃から、事故や火災への対応も考えておきましょう。自然災害に限らず、火災や事故などで重傷者を見つけたら速やかに119番に連絡することが賢明ですが、消防(救急隊)が到着するまでの間にできることもあります。火の小さなうちは消火器等での消火活動は大きな効果があり、けが人や急病人が心肺停止の状態の場合はAEDによる処置により、助かる可能性が大幅に高くなります。心臓が止まってわずかな時間で死亡率が高くなり、早い通報・応急手当て・救急・救命医療への「救命のリレー」が重要です。但し事故や火災の場合は、自分の安全を必ず確認することも大切です。

公共施設の設置場所
町内各小中学校
町内各公民館
多目的スポーツセンター
せいこドーム
柏が丘球場(冬季せいこドームアイスアリーナ)
追分プール(冬季安平山スキー場)
研修センター、ぬくもりの湯、早来庁舎
消防庁舎(早来・追分)など



AEDとは
自動体外式除細動器といい、心臓が止まった状態で電気ショックを必要とする場合に自動的に判断することができる電気ショック機器のことです。
消防以外の町の施設には、平成20年4月苫小牧歯科医師会より寄贈を受けた物をぬくもりの湯に設置して以来導入を進めています。更に町内でも民間の事業所、歯科医院や福祉施設などにも導入が増えていて、ステッカーを貼るなどして設置を周知しています。

平成23年火災・救急・救助の状況

胆振東部消防組合消防署安平支署まとめ
平成23年1月1日～12月31日

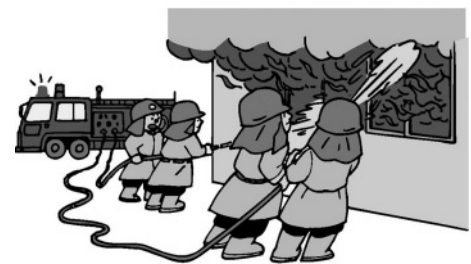
23年は火災・救急の出場件数は例年並みの数値となりましたが追分地区の不審火を含め火災が増加しました。

火災

安平支署			追分出張所		
件数	焼損面積	損害額	件数	焼損面積	損害額
4	3m ²	6,216千円	7	492m ²	25,766千円

救急

出場順位	安平支署				追分出張所			
	事故種別	出場件数	搬送件数	不搬送件数	事故種別	出場件数	搬送件数	不搬送件数
1位	急病	172	158	14	急病	93	86	7
2位	一般負傷	41	43	5	転院搬送	30	30	0
3位	交通	12	17	2	一般負傷	23	18	5
4位	転院搬送	12	12	0	交通	11	19	1
5位	労働災害	11	11	0	自損行為	3	2	1
6位	自損行為	2	1	1	労働災害	2	2	0
7位	運動競技	1	1	0	運動競技	1	1	0
8位	その他	3	0	3	その他	3	0	3
合	計	254	243	20	合	166	158	17



救助

	安平支署			追分出張所		
	出場	活動	救助	出場	活動	救助
交通	1	1	0	0	0	0

その他

件数	安平支署		追分出張所	
	出動	事由	出動	事由
2	・火事騒ぎ (1) ・誤報 (1)	3	・火事騒ぎ (1) ・誤報 (2)	

過去5年間出場件数

	安平支署			追分出張所			合計		
	火災	救急	救助	火災	救急	救助	火災	救急	救助
H 18	4	258	4	1	148	1	5	406	5
H 19	2	263	2	0	153	1	2	416	3
H 20	1	224	4	0	170	0	1	394	4
H 21	4	224	2	0	171	1	4	395	3
H 22	1	229	2	2	184	3	3	413	5